

総務広報委員会

- 担当専務理事名：川島 吉弘
- 委員 長 名：木戸 陽成
- 副委員 長 名：森 秀樹、長谷川 貴哉
- 委員 名：大崎 厚郎、木内 伊作、佐藤 忠之、箱田 英希、二見 宏史

1. 委員会活動方針

鎌倉青年会議所は47年間の活動を通じて地域から信頼される団体になりました。これは、地域に根ざして取り組んできたからであり、これからもこの信頼関係をより強固なものにすることが非常に大切であると考え、本年度の総務広報委員会は当会議所の組織運営に取り組みます。

青年会議所活動において総会や理事会は重要な位置を占めており、当委員会の職務の中でも重要な役割であります。当委員会が厳粛かつ円滑に行う事で当会議所がより地域から信頼される団体になるよう、活動して参ります。次に広報活動においては、市民からの認知度をより一層高めると共に当会議所への信頼を深めるため、ホームページのリニューアルを行い的確な情報発信をします。また、当会議所と関係諸団体、OBとの信頼関係をより強固にする事業を行います。そして、日本青年会議所や関東地区協議会、神奈川ブロック協議会に出席する会員をサポートすると同時に、市内関係諸団体などが行う事業に積極的に参加・参画してまいります。

当委員会の取り組みにより、会員同士の結びつきを強くし、さらには当会議所の地域に対する信頼関係をより強固にします。これは組織基盤の強化へと繋がり、本年度のテーマ「一期一縁」に寄与すると確信します。

2. 委員会事業計画

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内 容：総会ならびに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営
- (b) 時 期：2012年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に50名程度及び入会希望者、OB
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 広報に関する事業

- (a) 内 容：ホームページの管理・運営、外部への情報発信および周知の取り組み
- (b) 時 期：2012年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に50名程度及び入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 信頼関係をより強固にする事業の開催

- (a) 内 容：賀詞交歓会、次年度理事長を囲む会、卒業生を送る会の開催
- (b) 時 期：2012年 1月、7月、12月

- (c) 対 象：会員を対象に50名程度及び入会希望者、OB、関係諸団体
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 渉外に関する事業

- (a) 内 容：(公社)日本青年会議所、関東地区協議会及び神奈川ブロック協議会の事業への参加、出向者支援、関係諸団体の事業への参加
- (b) 時 期：2012年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に50名程度及び入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載